

部品交換要領書

室内ドア ラフオレスタ EⅡ・F・和室(EⅡ仕様)用
丁番セット

HHW18-007
2016年 9月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

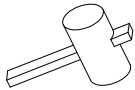
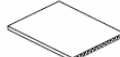


注意 重量物を扱うため、2人以上で作業を行ってください。
足場の不安定な場所などで作業を行わないでください。転倒により思わぬけがをするおそれがあります。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
お願い 素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。

同梱されているもの

丁番セット	取付ねじ	部品交換要領書
HH-WH03UR(L) HH-WH03DR(L)  1セット	① ドア側丁番取り付け用(白色): バインドM4×8×2本 ② ドア側丁番調整用: 丸M4×12×2本 ③ 枠側丁番取り付け用: 皿タッピンφ4×20×2本 ④ 枠側丁番取り付け用: 皿M×25×2本	本書 1枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー	木ハンマーなど	ダンボール等
 1本	 1本		

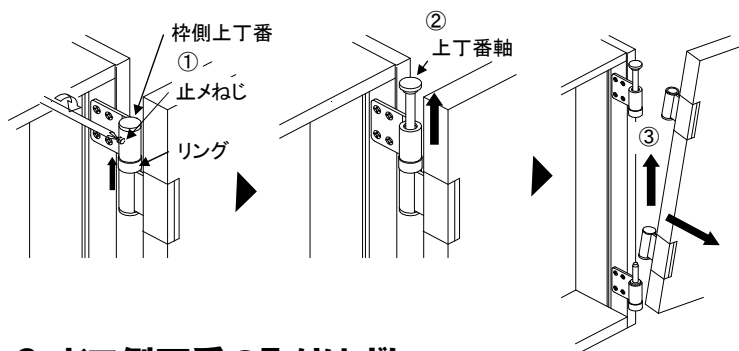
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方



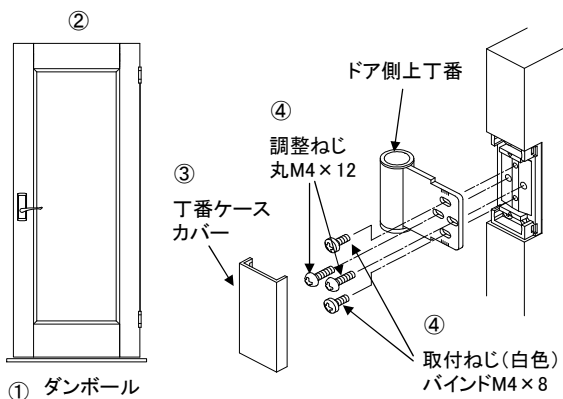
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

1 ドアの取りはずし



- ① プラスドライバーで枠側上丁番の止メねじをゆるめる。
- ② 上丁番軸を抜く。
※上丁番軸を抜くとドアがはずれてきます。
しっかりとドアを支えてください。
ドアを支えずに上丁番軸を抜くとドアがはずれて危険です。ご注意ください。
- ③ ドアを持ち上げ、取りはずす。

2 ドア側丁番の取りはずし



- ① 床にダンボール等を敷く。
※ドアや床にキズをつけないように必ずドアの下にダンボール等を敷いてください。
- ② ダンボール等の上にドアを置く。
- ③ 丁番ケースカバーを取りはずす。
※取りはずしが固い場合、丁番の取り合いにマイナスドライバーを当て、木ハンマーなどを使用して軽くたたいてください。
※取りはずした丁番ケースカバーは取り付けの際使用しますのでなくさないでください。
- ④ プラスドライバーでドア側丁番の取付および調整ねじをはずし、ドア側丁番をはずす。
※本図は上丁番で説明しています。下丁番も同様に取りはずしてください。

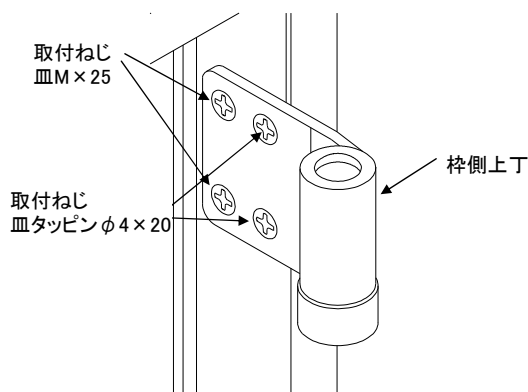
※部品の取り付け方は2・3・4・5ページをご覧ください。

部品の取りはずし

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取りはずす時は、必ずドアを支えて作業を行ってください。

3 枠側丁番の取りはずし



プラスドライバーで枠側丁番の取付ねじをはずし、
枠側丁番をはずす。
※本図は上丁番で説明しています 取付ねじ 皿M×25 も同様に
取りはずしてください。

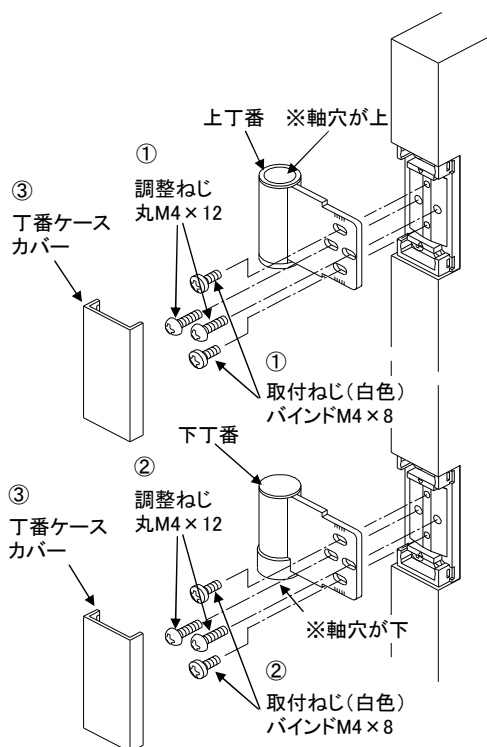
※部品の取り付け方は2・3・4・5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

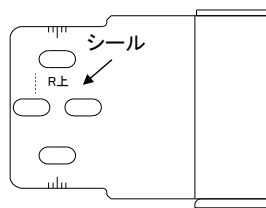
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

1 ドア側丁番の取り付け



- ①上丁番をシール貼付面が見えなくなる向きにし、軸穴が上を向きように取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじ(白色)、調整ねじの順でしめる。
※調整ねじは軽くしめてください。
- ②下丁番をシール貼付面が見えなくなる向きにし、軸穴が下を向きように取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじ(白色)、調整ねじの順でしめる。
※調整ねじは軽くしめてください。
- ③丁番ケースカバーを取り付ける。

例: 丁番シール貼付面



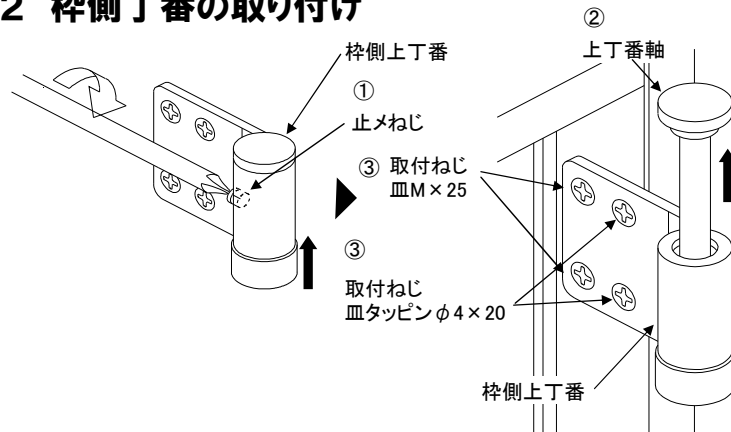
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け

お願い

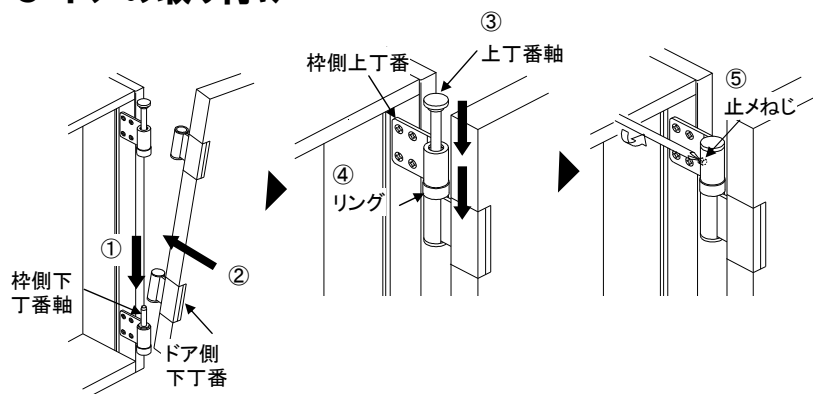
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)だけができるおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取り付けるは、必ずドアを支えて作業を行ってください。

2 枠側丁番の取り付け



- ① プラスドライバーで枠側上丁番の止メねじをゆるめる。
 - ② 上丁番軸を抜く。
 - ③ 枠側上丁番を取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ※取付ねじは2種類あります。間違えないでください。
・軸芯に近い上下: 皿タッピンφ4×20×2本
・軸芯から離れた上下: 皿M4×25×2本
※左図は上丁番で説明しています。下丁番も同様に取付ねじでしめてください。

3 ドアの取り付け



- ① ドア側下丁番を枠側下丁番軸に差し込む。
- ② ドアを起こして上下丁番の軸芯を合せる。
- ③ 上丁番軸を下げる。
- ④ リングを下げる。
- ⑤ プラスドライバーで枠側上丁番の止メねじをしめる。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

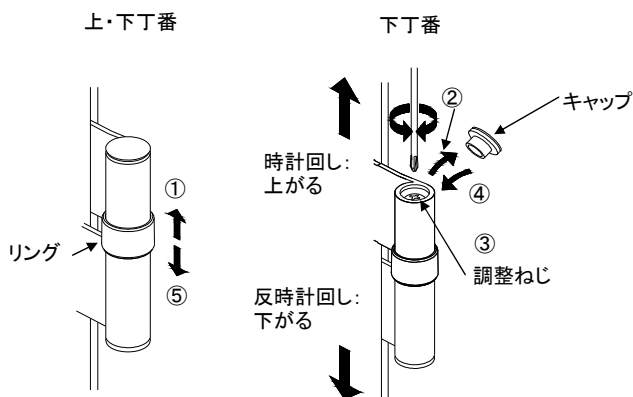
部品の取り付け

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取り付けるは、必ずドアを支えて作業を行ってください。

4 丁番での建付調整

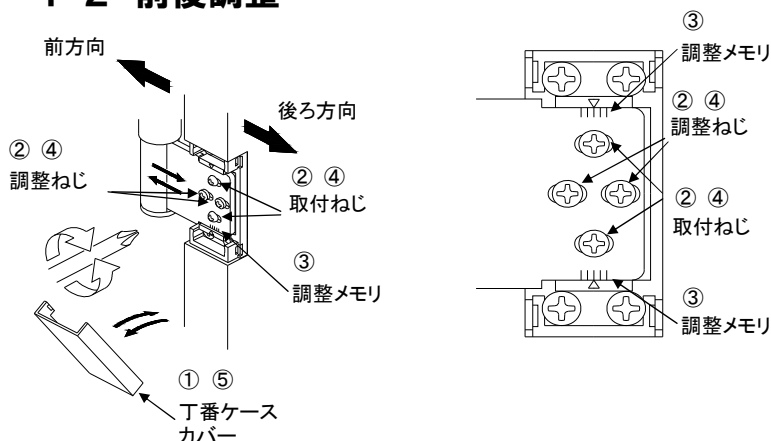
4-1 高さ調整



ドアの高さを調整する場合、下記の通りに行う。

- ①上・下丁番のリングを上げる。
- ②下丁番のキャップを取りはずす。
- ③プラスドライバーで下丁番調整ねじを回す。
・時計方向にまわすと、ドアは上がる。
・反時計方向にまわすと、ドアは下がる。
※調整範囲はそれぞれ2.5mmとなっています。
※ドア重量が重い場合、ドアを持ち上げると容易に調整することができます。
- ④下丁番のキャップを取り付ける。
※キャップは紛失防止のため、紙テープで仮固定しています。調整後、紙テープをはがしてください。
- ⑤上・下丁番のリングを下げる。

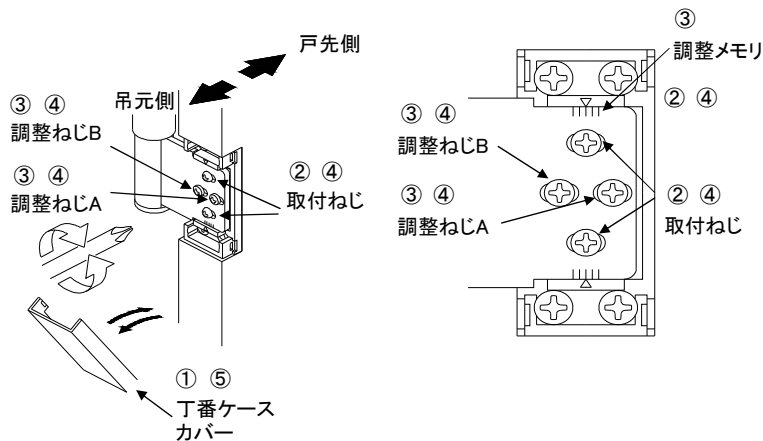
4-2 前後調整



ドアの前後方向に調整する場合、下記の通りに調整する。

- ①丁番ケースカバーをはずす。
※固い場合、マイナスドライバーを隙間に差し込み、木ハンマーなどを使用して軽くたたいてください。
- ②プラスドライバーで丁番の取付ねじ、調整ねじをゆるめる。
- ③調整メモリを合わせながら、丁番を移動し位置決める。
※調整メモリは1mm間隔です。
※調整範囲は前後方向ともに2mmとなっています。
- ④調整後、取付ねじ、調整ねじの順でしめる。
- ⑤丁番ケースカバーを取り付ける。
※前後調整は上・下丁番共通です。
※本図は右勝手で説明しています。

4-3 左右調整



ドアの左右方向に調整する場合、下記の通りに調整する。

- ①丁番ケースカバーをはずす。
※固い場合、マイナスドライバーを隙間に差し込み、木ハンマーなどを使用して軽くたたいてください。
- ②プラスドライバーで丁番の取付ねじ(白色)をゆるめる。
- ③調整ねじをゆるめたり、しめたりしながら、調整する。
・ドアを吊元側に移動する場合
調整ねじAを適当にゆるめ、調整ねじBをしめながら調整する。
・ドアを戸先側(錠側)に移動する場合
調整ねじBを適当にゆるめ、調整ねじAをしめながら調整する。
※調整範囲は吊元側・戸先側ともに2mmとなっています。
- ④調整後、取付ねじを強くしめ、調整ねじをしめる。
・ドアを吊元側に移動する場合
調整ねじAをしめる。
・ドアを戸先側(錠側)に移動する場合
調整ねじBをしめる。
- ⑤丁番ケースカバーを取り付ける。
※前後調整は上・下丁番共通です。
※本図は右勝手で説明しています。

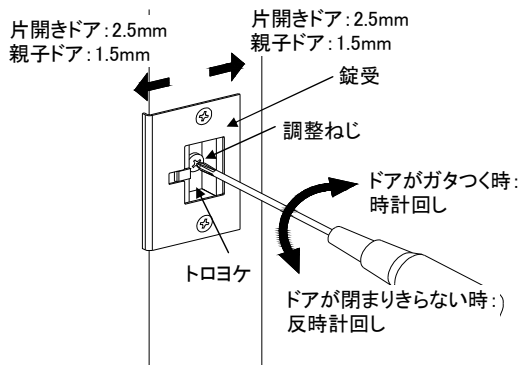
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取り付けるは、必ずドアを支えて作業を行ってください。

5 錠受の調整



錠のかかりが悪い場合、プラスドライバーでトロヨケ中央部の調整ねじを回し、下記の通り調整する。

・ドアがガタつく場合

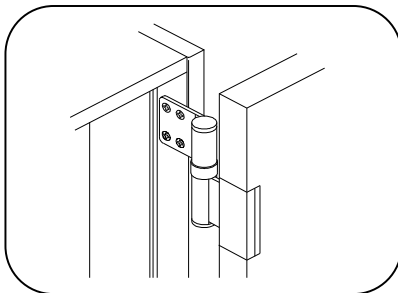
調整ねじを時計方向にまわすと、錠受は右側に移動する。

・ドアが閉まりきらない場合

調整ねじを反時計方向にまわすと、錠受は左側に移動する。

※調整範囲はそれぞれ片開きドアは2.5mm、親子ドアは1.5mmとなっています。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ ハンドルを動かし、施解錠ができることを確認してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。